

11月17日
共産党市議団

栢木市長に予算要望



予算要望書を栢木市長及び川口副市長に提出する党議員団（17日）

コロナ禍、市民の命と暮らしを守る市政を

日本共産党野洲市議団（工藤義明団長）は17日、栢木市長と川口副市長に対して「2021年度野洲市予算に対する要望書」を提出しました。コロナ禍、市民の命と暮らしを守る施策を要望しました。みなさんと実現へがんばります。

- ◆コロナ集団感染のリスクの高い施設へのPCR検査の実施
- ◆地域医療を守る市民病院の早期建設を
- ◆不公平税制の都市計画税は廃止されること
- ◆中学校卒業までの医療費を無料にされること
- ◆小中学校の少人数学級実施を。就学援助基準を生活保護の1.5倍に



コロナ禍、市民の暮らしと営業は深刻な事態です。予算要望では、感染防止へPCR検査の体制を確立すること。また、市民生活を守る対策や雇用確保、営業に困窮する市内業者へ万全な施策を市としても行うよう求めました。

今後、契約解除を行うとしています。11月定例市議会の議論を経ずしての中断は問題です。

新たな都市計画税の課税は一層暮らしを脅かします。予算要望では、栢木市長が課税を見送ることは評価しつつ、しかし、そもそも市民への不公平税制となる都市計画税は廃止するよう求めました。

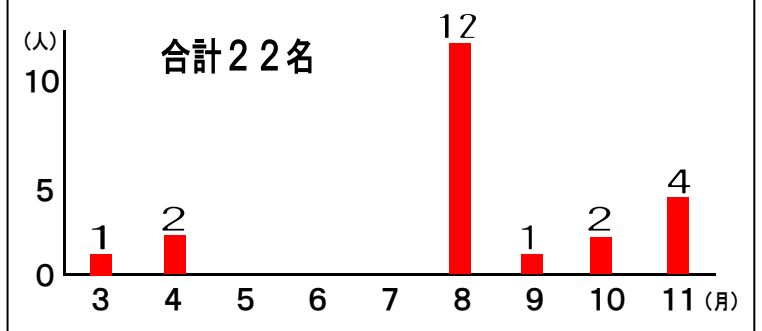
菅政権が「自助」を押し付け暮らしを脅かす中、自治体の役割は重要です。みなさんから寄せられた切実な願いの実現へがんばります。

感染第3波へ、共産党が抜本対策を提言

「第3波」といえるコロナウイルス感染が急増しています。日本共産党は12日、抜本対策の提言を発表しました。

提言では、①「大規模・地域集中的検査」「社会的検査」を。②感染追跡を専門に行うトレーサーを確保し、保健所の体制を抜本的に強化する。③「医療崩壊」を絶対に起こさないために、医療機関の減収補てん、宿泊療養施設の確保を一の3項目。各項目で具体的な対応策を示しています。

野洲市内の月別感染者数（11月20日現在）



やす民報

日本共産党野洲市委員会
2020年11月22日 No.384

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索